

令和7年度

ひきこもり支援者向け研修

オープンダイアログ

オンライン
開催

ひきこもりの状態にあるご本人やそのご家族を支える人材を育成する研修を下記のとおり開催いたします。

対象者

都内に活動拠点があり、ひきこもりの状態にあるご本人やそのご家族を支援する団体や行政機関等の支援者の方、今後支援業務に従事する予定の方

研修内容

オープンダイアログ

日 時：令和8年3月3日(火) 午後1時30分～午後5時30分

講 師：つくばダイアログハウス院長 筑波大学名誉教授 ^{さいとう} 齋藤 ^{たまき} 環 氏

内容(予定)：「オープンダイアログ（開かれた対話）」は、統合失調症のケアの手法としてフィンランドで発祥したのですが、ひきこもり支援においても有効性が報告されています。日本における「オープンダイアログ」の第一人者である齋藤環先生に演習を交えながら講義していただきます。

※講義内容は変更になることがあります。

受講者数

40人程度

先着順のため、定員に達し次第締切といたします。結果は全員に通知します。

実施方法

オンライン研修（Zoomで開催します）

演習を実施するためWEBカメラ・マイク必須です。（カメラ・マイクが機能しない場合は受講できません。）

受講料

無料

主 催

東京都 本事業は東京都から(公財)東京都福祉保健財団が受託しています。

申込方法

受講を希望する研修ごとに当財団ホームページ下記URLから申込フォームに必要事項（氏名・所属名・電話番号・メールアドレス等）をご登録ください。研修詳細は裏面をご覧ください。（URL：<https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/>）



● 講師紹介

Ⅰ オープンダイアログ

つくばダイアログハウス院長 筑波大学名誉教授 さいとう たまき 齋藤 環氏

オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン共同代表。精神科医。専門は思春期・青年期の精神病理学。民間病院での豊富な臨床経験を経て現職。「ひきこもり」の治療・支援に取り組む傍ら、講演活動・執筆活動を精力的に行う。著書に「まんが やってみたいくなるオープンダイアログ」（医学書院）、「中年ひきこもり」（幻冬舎新書）、「社会的ひきこもり」（PHP新書）など多数。

● 受講者の声（令和6年度アンケートより）

- 前半の講義と、後半の演習と分かれており、知識が実践的に学べる構成でとても良かったです。オープンダイアログは、ご著書は拝読しており、仲間と実験的に取り組んだこともありましたが、理念とポイントが明確になりました。
- 興味深く、貴重なお話を聴くことができ、大変よい機会になりました。いろいろと疑問に感じる部分や不明点もありましたが、何度も質問の時間を取っていただくことで他の方の質疑応答の中で答えを見つけられることもあり、ありがたかったです。また台本ありのロールプレイも非常にわかりやすく、フリーでのロールプレイに比べてよりエッセンスを体感することができたのでよかったと思います。

● 申込にあたっての注意事項

- ① 受講にあたっては、Zoomの視聴環境の確保が必要です。詳細は当財団ホームページをご覧ください。受講料は無料ですが、視聴環境確保のための経費（受講端末・インターネット通信料等）はご負担ください。本研修ではビデオをオンにして受講していただきます。受講者の画像・氏名が共有されることを了承の上、お申し込みください。
- ② 申込には、受講者ごとに個別のメールアドレスをご登録ください。メールアドレスで個人の識別を行います。同一の申込フォームに同一のメールアドレスで複数の申込があった場合、情報が上書きされ、正常な受付ができませんのでご注意ください。申込から1週間が経過しても受講決定メールが届かない場合は、恐れ入りますが事務局へご連絡ください。
- ③ 本研修を初めて受講する方が優先となります。
- ④ 申込時にご登録いただいた個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、当該研修業務以外の目的で利用することはありません。
- ⑤ 本研修は演習を主体とするため、オンデマンド受講（録画視聴による受講）はございません。

● 問合せ先



公益財団法人 東京都福祉保健財団

人材養成部福祉人材養成室 ひきこもり支援研修担当

〒163-0719 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング19階
Tel 03-6302-0319 e-mail: hikikomori@fukushizaidan.jp
URL: <https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/>



東京都福祉保健財団
ひきこもり

